

平成29年2月23日
沖 縄 防 衛 局

お 知 ら せ

平成28年12月13日に名護市において発生したMV-22オスプレイ不時着水事故を受け、沖縄防衛局が同月23日（金）に実施した事故機が不時着水した付近の水質・底質の調査結果について、別添資料のとおり取りまとめましたので、お知らせします。

なお、別添資料については、沖縄防衛局のホームページでも公開する予定です。

以 上

別添資料：名護市安部地区地先の水質・底質等調査の結果について

問い合わせ先：
沖縄防衛局
管理部 業務課
藤課長
井川課長補佐
佐々木課長補佐
098-921-8131（内線402、404、405）

平成29年2月23日
沖縄防衛局

名護市安部地区地先の水質・底質等調査の結果について
(お知らせ)

当局が平成28年12月23日に実施した名護市安部地区地先における水質・底質等の環境調査の結果について、下記のとおりお知らせします。

記

1 調査内容

米海兵隊普天間基地所属のMV-22オスプレイが不時着水した名護市安部地区地先の沿岸部において、不時着水付近の海水及び底質を採取し、以下の調査項目について分析を行った。

(1) 調査・採取年月日

平成28年12月23日(金) 08:00~10:20

(2) 調査地点：名護市安部地区地先の沿岸部(別図参照)

(3) 調査試料：海水、底質

(4) 調査項目

- ア 水質調査 海水：水質汚濁に係る環境基準の人の健康の保護に関する環境基準項目など(計23項目)
- イ 底質調査 底質：一般性状(4項目)、土壌の汚染に係る環境基準に定められた金属等(8項目)
- ウ 放射能調査 調査地点付近での空間放射線量率(ガンマ線)

2 調査結果

(1) 水質調査

水質については、表1に示すとおり結果であり、水質汚濁に係る環境基準の人の健康の保護に関する環境基準よりも低い値である。

(2) 底質調査

底質については、表2に示すとおり結果であり、土壌の汚染に係る環境基準に定められた金属等の溶出試験結果は環境基準よりも低い値である。

また、乾燥減量、強熱減量などの一般性状については、沖縄県が実施した調査結果(平成29年1月20日公表)と大きな差は無かった。

(3) 放射能調査

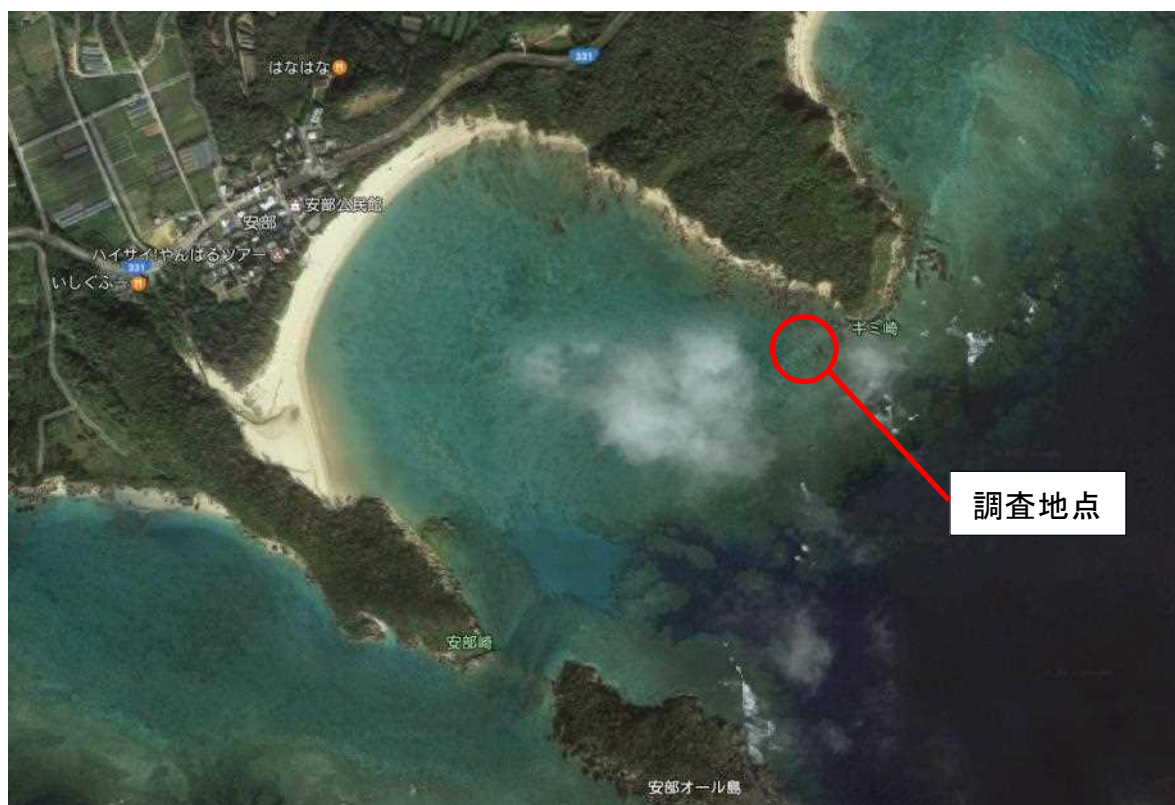
空間放射線量率は、一般環境と同レベルであった。

3 今後の対応

平成29年1月22日に実施した水質調査及び底質調査(上記1(2)以外の7地点)について、現在分析中であり、その結果も踏まえ、検討する。

以上

1 調査地点（別図）



2 調査結果

(1) 水質調査（表1）

項目	環境基準	測定値
カドミウム (mg/L)	0.003 以下	<0.0003
全シアン (mg/L)	検出されないこと	<0.1
鉛 (mg/L)	0.01 以下	<0.001
六価クロム (mg/L)	0.05 以下	<0.02
砒素 (mg/L)	0.01 以下	0.002
総水銀 (mg/L)	0.0005 以下	<0.0005
アルキル水銀 (mg/L)	検出されないこと	<0.0005
PCB (mg/L)	検出されないこと	<0.0005
ジクロロメタン (mg/L)	0.02 以下	<0.002
四塩化炭素 (mg/L)	0.002 以下	<0.0002
1,2-ジクロロエタン (mg/L)	0.004 以下	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	0.1 以下	<0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	0.04 以下	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1 以下	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	0.006 以下	<0.0006
トリクロロエチレン (mg/L)	0.01 以下	<0.001
テトラクロロエチレン (mg/L)	0.01 以下	<0.0005

項 目	環境基準	測定値
1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	0.002 以下	<0.0002
ベンゼン (mg/L)	0.01 以下	<0.001
セレン (mg/L)	0.01 以下	<0.001
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	10 以下	<0.014
1,4-ジオキサン (mg/L)	0.05 以下	<0.005
油分 (n-ヘキサン抽出物質) (mg/L)	検出されないこと	<0.5

注1：「検出されないこと」とは、その結果が各項目に応じた測定方法の定量限界を下回ることをいう。

2：上記測定値の「<」記号は、定量下限値未満の低い値であることを表す。

(2) 底質調査 (表2)

項 目	環境基準 (参考)	測定値
カドミウム (mg/L)	0.01 以下	<0.001
全シアン (mg/L)	検出されないこと	<0.1
鉛 (mg/L)	0.01 以下	<0.001
六価クロム (mg/L)	0.05 以下	<0.02
砒素 (mg/L)	0.01 以下	0.005
総水銀 (mg/L)	0.0005 以下	<0.0005
アルキル水銀 (mg/L)	検出されないこと	<0.0005
PCB (mg/L)	検出されないこと	<0.0005
乾燥減量 (%)	—	20.5
強熱減量 (%)	—	4.6
化学的酸素要求量 (CODsed) (mg/g)	—	0.9
油分 (n-ヘキサン抽出物質) (mg/g)	—	<0.1

注1：「環境基準 (参考)」とは、土壤の汚染に係る環境基準の値である。

2：「検出されないこと」とは、その結果が各項目に応じた測定方法の定量限界を下回ることをいう。

3：上記測定値の「<」記号は、定量下限値未満の低い値であることを表す。

(3) 放射能調査

調 査 地 点	空間放射線量率 (μ Sv/h)
調査地点 (上記1) 付近の岩場	0.06

注1：空間放射線量率は、現地にてNaIシンチレーション計で測定

2：那覇市(県庁舎付近)の空間放射線量率 (平成27年度) : 0.042~0.073 μ Sv/h